

彼の塔爾巴哈臺附近の農夫は耕地甚た多く、住民少なき爲め三區の耕地を交代に下種しつゝ在り。即ち今年下種せし土地は、爾後二年間全く使用せず、三年目に至り始めて下種するなり。而も土地肥沃なるに因り敢て肥料を施さずと云ふ。

第八節 森林

山中に於ける松樹林

新疆に於て、森林を成すもの、山中に在りては松樹を多しとし、平地に在つては梧桐、榆樹を多しとす。松樹林は天山々中の谷間に滿つるも、路遠く且つ險なるに因り搬出し難く、現に住民の需用しつゝ在るは、伊犁一帶の溪間、及巴爾魯克山（塔爾巴哈臺の南方にして、良材多く、搬出に便なり。）並に烏魯木齊東南の溪谷に存在する者とす。此の森林を以て新疆第一となす。又梧桐林は南路に多く、榆樹林は北路に多し。梧桐林は近距離の通視並に通過に妨げ無きも、榆樹林は下枝繁きが故に、通視、通過共に困難なり。

路傍に於ける梧桐林と榆樹林

道路に沿へる梧桐林、榆樹林は、其の長さ大抵二里乃至五里以内を通常とするも、瑪喇巴什西方には、十數里間悉く梧桐林を成す有り。而して其幅往々五六里以上に達するものあるが、概ね二三里に過ぎず。